

市高対春高

巡り合わせというものは間違いなくこの世に存在しています。令和7年度の運動部部活動、トーナメントの戦いは各競技、とことん春日部高校と対戦するという形になりました（ハンドボール・硬式野球・マスターズの野球・そしてこの日のサッカー）。

サッカーの会場がうち（市立浦和高校）に決まった時、春日部高校野球部から連絡をいただきました。「その日野球部の予定はどうなっていますか？」多分お互い同じ状況・・・夏、野球対戦の時、サッカー部に応援していただいたので次は野球部がサッカー部の応援をする・・・

だったらサッカー試合開始時間（10時）まで一緒に練習をお願いできませんか？そうしましょう。そんな感じでこの日を迎えました。そして当日、会場準備をしていたサッカー部生徒の安全面を考え（硬球は使用せず）前哨戦という形で、お互いの野球部がサッカーで試合をするという面白い練習？をして大いに盛り上がりました。

本番（サッカー部の試合）良い試合でした。

野球の夏の大会と同じ、サッカー部3年生の集大成という形で行われているこの大会、そういう気持ちがプレーに出ている試合でした。市高だけでなく春日部高校の生徒達も素晴らしかったです（サッカーだけでなく応援も）。野球で戦った時と同じ、進学校同士の対戦らしいフェアな戦いでした。勝ちも負けありません。高校の部活動に一生懸命向き合った生徒達は皆、勝者なのだと私は思います。

それぞれの部活動が切磋琢磨して学校を盛り上げる・・・母校がいつまでもそんな高校であって欲しいと思います。

（春日部高校の皆さんも含め）お疲れ様でした。
市高サッカー部、次戦も頑張ってください！

市立浦和高等学校野球部通信

発行者 鈴木 諭

発行日 R7. 10. 20

発行ナンバー 1222号

（鈴木主将の代・・・24号）

富士君

埼玉県では11月末、県内東西南北4地区選抜選手による交流戦が実施されています（1校1名選出というのがポイントです）。

2年前、私は南部地区の監督という大役を仰せつかりました。8月の新人大会や9月の地区大会をなるべく観るようにして、メンバーの選出をしました。

そんな中、間違いなく選抜チームの中でも中心選手、そんな形で選出したのが、当時、大宮東高校のエースだった・富士大和君でした。

短期間の活動で結果を出さなければならない時大事なのは、中心選手の「人間性」だと思います。富士君はそういう所が素晴らしかったです。自分が投げている試合の攻撃時、（ベンチ内で）率先して大声を出していたのです。私の目に狂いはありませんでした。選出後、献身的な行動でチームをまとめてくれました。中心選手が彼だったので、監督という立場の私はとても楽でした。

なぜ富士君のことを書いているのか・・・実は今、彼は西武ライオンズの育成選手として頑張っています。現在行われているフェニックスリーグ阪神戦で好投したというニュースを見たからです。

富士君、ぜひ一軍のマウンドで投げる姿を見せて下さい。そんな日が来たら、私は絶対西武ドームへ応援しに行きます。君を応援する人はたくさんいます。それは君のこれまでの野球への取り組みがそうさせているのです。

堂々と投げて欲しいと思います。

富士君、頑張れ！